

要請番号 (JL23923B14)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ホンジュラス	G159 数学教育	20~45歳のみ	グループ型	新規4代目	2年	・2024/2・2024/3・2025/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育省

2) 配属機関名（日本語）

バジェ県教育事務所

3) 任地（バジェ県ナカオメ市）JICA事務所の所在地（テグシガルパ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約2.5時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

ナカオメ市は、同国南部のバジェ県の県都で、同市の主な産業はとうもろこし、豆、塩の生産、商業、エビ業などで、人口は約6万人。バジェ県教育事務所は、県内19市の基礎教育にかかる政策・予算・人事の管理を行っている機関で、「財務」「人材能力」「調達」「教育サービス」「企画」「カリキュラム・評価」「教育制度」の7つの局から成り、40名のスタッフが在籍している。教員研修を担当している「カリキュラム・評価局」には5名のスタッフが配置されている。政府からの予算は人件費のみで、教員研修等の活動のための安定的な予算は確保されていない。同県には、現在、基礎教育第1・第2・第3サイクル(日本の小中学校課程に相当)を擁する公立学校が295校登録されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国の基礎教育第3サイクル(日本の中学校に相当)は、高い留年率(約4.4%)と中退率(約8.7%)が問題となっており、その原因のひとつに数学の成績が進学の基準に達しないことがあげられている。これまで、2003年～2011年の間に2回にわたりJICAの「算数指導力向上プロジェクト(PROMETAM)」が実施され、算数・数学の基礎教育強化が図られた。2015年～2018年には「数学指導力向上プロジェクト(PROMETAM)」が実施され、基礎教育第3サイクルの数学教材の改訂と、中等教育(日本の高等学校に相当)の数学教材が作成された。プロジェクト終了後も、算数・数学教育の現場レベルにおいて、隊員による協力活動を行ってきていた。同県ではこれまで算数教育隊員3名が活動してきたが、現職教員の経験や知識は十分とはいえない状況であることから、引き続きの協力を求めて本要請が出された。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

教育ネットワーク(規模に応じて1～2つを担当)を活動の基盤として、各ネットワークの中核教師と共に、ネットワークから選定する活動校(1～2校)にて以下の活動を行う。
 ①数学授業を観察しながら、教員に対し、数学授業の質向上のための指導技術に関する助言とサポートを行う。
 ②現職教員を対象に実施する数学教育に関する各種研修会の企画・実施への協力、研修会における教員への助言、モニタリングのサポートを行う。
 ③活動校や研修会において、プロジェクトで作成された教材を用いた授業の実施を支援する。
 ④算数・数学分野の他隊員と連携し、数学授業改善に向けた副教材作成や教員研修等の企画・実施への協力を行う。
 ※教育ネットワーク:地域ごとに組織された、3～10校からなる学校のネットワーク。教科毎に分科会を形成し、指導法の向上などを図っている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、椅子、プリンター、コピー機、過去の隊員が作成した教材等(定規、分度器、コンパス等の教材は、学校に常備されていない)。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚：県教育事務所カリキュラム・評価局スタッフ(30～50代)、市教育事務所スタッフ(30～50代)、活動校校長(40～50代)

活動対象者：数学教員(20～50代)、生徒(13～15歳)

※活動するネットワークや活動校は、事前にホンジュラス事務所と県・市教育事務所との協議により決定する。

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（中学校又は高等学校教諭（数学）） [学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（教員経験）10年以上 備考：教員への指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（20～37°C位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水源]：（安定）

【特記事項】

原則ホームステイとする。但し、現地事情により一人暮らしとなる可能性もある。

【類似職種】